

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成22年3月21日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0174100800		
法人名	特定非営利活動法人 オーディナリーサーヴァンツ		
事業所名	釧路市音別町認知症高齢者グループホーム		
所在地	釧路市音別町中園1丁目54番地 (電話) 01547-6-3560		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成22年3月15日	評価確定日	平成22年3月29日

## 【情報提供票より】(平成22年3月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年3月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	15人	常勤	7人, 非常勤 8人, 常勤換算 7人

### (2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	~ 1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	5,000円	その他の経費(月額)	15,000円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200円	昼食	300円
	夕食	300円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(3月1日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	2名	要介護2	2名		
要介護3	3名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 87.6歳	最低	78歳	最高	93歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	市立釧路国民健康保険音別診療所
---------	-----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

釧路市音別町の福祉関係の事業所が集合している地域に開設され、パワーリハビリテーションの導入で介護予防に取り組んでいるNPO法人が運営する1ユニットのグループホームです。また、幼稚園の行事に招待されたり、大正琴サークルや小学生の慰問、文化祭等の地域の行事参加、ボランティア協会や近隣住民との交流を通じたふれあい、社会福祉協議会や地域との連携等で地元の人々との日常的な付き合いが行われています。身体機能の維持の為、嚥下体操や回想法を用いたレクリエーションの取り組みやメンタルヘルスやリスクマネジメント等外部講師を招聘、ヒヤリ・ハットで事故の未然防止対策に取り組む等サービスの質の向上に取り組んでいます。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、運営推進会議の議事録の整備について課題が挙げられていましたが、地域に密着した活動が行われ運営推進会議が開催されていますが、今後は、さらに定期的に継続された運営推進会議の開催が望まれます。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、全ての職員が参加して行われ、振り返りの機会や新たな気付きの機会として利用され、課題が明確にされて具体的改善点が話し合われています。また、外部評価の結果は、職員間で話し合われ運営推進会議に報告され、そこでの意見が運営に反映されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議の主な議題は 利用状況とサービス提供内容について アンケート調査等法人としての取り組みについて ホーム行事予定と実施結果報告について 職員の異動・離職の報告について 職員研修の実施報告について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族等の来訪時に健康状態や日常の暮らしぶり、不安な点や要望、意見や苦情等話し合いが行われ、そこでの意見が運営に反映されています。また、家族会の開催では、十分に納得いくまで話し合いが行われ、そこでの意見を苦情記録として残され、職員間で話し合われ改善策が採られるよう取り組まれています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 幼稚園の行事に招待されたり、大正琴サークルや小学生の慰問、文化祭等の地域の行事参加、ボランティア協会や近隣住民との交流を通じたふれあい、社会福祉協議会や地域との連携等で地元の人々との日常的な付き合いが行われています。また、町内会や老人会、婦人会やボランティア協会等の協力・連携が実践されています。

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、介護予防に取り組む等ホーム独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、ミーティングを通じて理念を共有し、釧路市音別地区の認知症サポーター養成講座で、サポーターに理解される取り組みが行われ、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	幼稚園の行事に招待されたり、大正琴サークルや小学生の慰問、文化祭等の地域の行事参加、ボランティア協会や近隣住民との交流を通じたふれあい、社会福祉協議会や地域との連携等で地元の人々との日常的な付き合いが行われている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、全ての職員が参加して行われ、振り返りの機会や新たな気づきの機会として利用され、課題が明確にされて具体的改善点が話し合われている。また、外部評価の結果は、職員間で話し合わせられ運営推進会議に報告され、そこでの意見が運営に反映されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議の委員は、家族代表、町内会役員、老人クラブ連合会役員、民生委員、ボランティア連絡協議会役員、婦人会役員、地域包括支援センター、法人理事及び管理者、職員で構成され、職員研修等具体的に話し合われている。</p>		<p>今後は、運営推進会議の開催を年6回を目安に定期的実施することを期待します。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は、市との連携の重要性を理解し、日々ケアサービスの質の向上に取り組んでいる。また、釧路市の指定管理者で定期的に市との連携をしている。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>定期的に発行する「そら」通信で、ホーム行事参加の呼びかけや本人の「行きたいところ支援」への家族ボランティアの呼びかけ等で意見が職員などに表せる機会を設けている。また、金銭管理は、毎月出納帳のコピーと領収書を添付して家族に報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族等の来訪時に健康状態や日常の暮らしぶり、不安な点や要望、意見や苦情等話し合いが行われ、そこでの意見が運営に反映されている。また、家族会の開催では、十分に納得いくまで話し合いが行われ、そこでの意見を苦情記録として残されている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、事業所、管理者は、職員の離職や異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で年間計画を立て、新人、中級、上級者などと職員の段階に応じた研修が行われている。また、外部講師を招きメンタルヘルスやリスクマネジメント等の研修が行われている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地区のケアマネ会議やグループホーム協議会を通じた研修会や勉強会等で交流や情報交換が行われている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には、利用者・家族の見学や職員との懇談などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるように家族等と相談しながら工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、畑作りから収穫まで作業をしたり、調理方法など相談しながら味見や食事の準備をしたり一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式を活用して、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め、散歩や買い物、裁縫や掃除、食事の準備・後片付け等本人本位に検討している。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の期間に応じてサービス担当者会議で計画的に見直しが行われている。また、職員の意見や利用者・家族の要望、利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した見直しが行われている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、散歩や買い物、通院やパワーリハビリテーション、福祉有償運送事業で地域のニーズに対応する等柔軟に支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切に、診療所と連携し、適切な医療が受けられるよう支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、指針が定められ、利用者・家族と段階的に繰り返し相談しながら慎重に検討対応するよう指針が職員間で共有されている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の扱いはしていない。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、散歩や買物、畑作業や野菜の収穫等本人の希望にそって支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みや力を活かしながら、食材の買出しや調理、食事の準備や後片付けなど一緒になって楽しんでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2回を目安に入浴を楽しめるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かしながら、家事や畑仕事、野菜の収穫や食材の買出し、散歩やドライブ等役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、喫茶店や外食ツアー、花見やピクニック、散歩や買い物等戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	スプリンクラーが設置完了している。また、火災避難訓練や消火器訓練が定期的実施され、緊急対応マニュアルが整備されている。		今後は、さらに火災や地震、津波等の緊急時に昼夜を問わず、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけていくことを期待します。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	具体的な水分・食事摂取量は記録され、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。また、栄養バランスや摂取カロリーは北海道食事バランスガイドを基に凡そ把握されている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者にとって気になる音の大きさや臭い、光の強さは感じられない。また、共用の空間には椅子やテーブルが配置され利用者が思い思いに過ごせる空間も用意され居心地よく過ごせるような工夫をしている。家庭的雰囲気が感じられ、ベランダからは、車椅子でも敷地内の中庭に出られるように工夫されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、本人や家族と相談しながら、仏壇や使い慣れた家具、絵などの作品が飾られ本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。